



ダムニュース

[法人名] 一般財団法人ダム技術センター
[郵便番号] 〒110-0008
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7池之端日殖ビル2F
[電話] 03-5815-4161
[FAX] 03-5815-4162
[ウェブサイト] <http://www.jdec.or.jp/>
[電子メール] damnews@jdec.or.jp

この号の内容

- 1 「第15回東北ダム技術検討会」開催
- 2 第7回浅瀬石川ダム
水質保全対策検討委員会
- 3 Dam news 投稿記事募集
- 4 図書販売



東北ダム技術検討会の様子

「第15回東北ダム技術検討会」開催

～東北地方整備局～

「東北ダム技術検討会」は、ダム事業の円滑かつ効率的な事業執行及び若手職員の技術力向上を図ることを目的に、平成18年度に設立され、本年で15回目を数えるものです。

本検討会には、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所、東北地方整備局、管内ダム関係事務所の関係者が出席し、東北地方整備局が管轄するダム全般に係る調査・設計・施工・管理に関する様々な技術的課題等について、毎年、意見交換がなされています。

本年は、新型コロナウイルスの影響もあり開催が危ぶまれましたが、規模を縮小し、新型コロナウイルス感染防止策を行うこと、別行程で組まれていた成瀬ダム進捗報告会の現地確認を兼ねることとし、令和2年11月20日（金）に、国土交通省水管理・国土保全局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所、整備局ダム関係事務所等総勢44名参加のもと、成瀬ダム（秋田県東成瀬村）での現地研修及び東成瀬村内の会場にて検討会を開催しました。

現地研修では、CSG打設が今年度予定工事完了後であったため、あいにく自動化施工の見学はできませんでしたが、CSG製造施設及び屋内試験室において、企業体職員から台形CSGダムの品質管理システムについて、実際の試験機や大型供試体を見ながら詳細な説明をいただき、台形CSGダムの施工についての理解を一層深める一助になったものと考えられます。

検討会では、国土技術政策総合研究所河川研究部大規模河川構造物研究室金銅室長より『ダムの安全とリスク認識』、国立研究開発法人土木研究所地質・地盤グループ阿南上席研究員より『土木事業における地質・地盤リスクマネジメント』の2題について講話をいただきました。

『ダムの安全とリスク認識』では、ダム事業・管理における多様なリスクへの対処法として、国内外における重大事故の事例やリスクの特徴を交えた、リスクコミュニケーションの取り組みの重要性について講話をいただきました。質疑応答では、自身の立場でのリスクコミュニケーションに取り組み今後の業務に活かそうと若手職員から多くの質問が出るなど活発な討議が交わされました。

『土木事業における地質・地盤リスクマネジメント』では、近年の直轄事業における事業費増の要因の一つである地質・地盤の不確実性を適切に取扱い、事故等を最小化し効率的に事業を進めるための地質・地盤リスクマネジメントについて講話をいただきました。質疑応答では、事務所で活用しているICT技術による地質情報の3D化の有効活用方法についての質問等、若手職員を中心に質疑が出ました。

その後、成瀬ダム工事事務所から『成瀬ダムの進捗状況について』報告を行いました。当初想定していない事象の発生やそれに対する対策等を踏まえた報告内容は、まさにリスクマネジメントに関わる事項であり講話の内容をより深く理解することができたと考えられます。

本検討会は、若手技術者に対するダム技術継承も目的の一つであり、今後も継続し、課題検討や意見交換を通じて職員の技術力向上を図っていきたいと考えています。

（東北地方整備局 河川部 河川計画課）



▲東北ダム技術検討会の様子



▲金銅室長による講話



▲展望台から全景を視察



▲CSG製造プラントの視察



▲屋内試験室の視察



▲骨材操作室の視察



▲湖水循環(曝気)装置建屋屋上にて。説明を受ける委員の方々



▲ダム湖に設置された湖水循環装置を臨む



▲パネルをご覧になる野池達也委員長と櫻田宏企業長



▲約25名が参加した第7回検討委員会



▲講評を述べられる野池達也委員長

第7回 浅瀬石川ダム 水質保全対策検討委員会

～ 恒久対策の効果検証と今後のモニタリング計画について ～

令和2年11月10日(火)、黒石市の津軽広域水道企業団 2階会議室において、『浅瀬石川ダム水質保全対策検討委員会』の第7回会合を開催しました。

浅瀬石川ダム管理所(現浅瀬石川ダム管理支所)では、平成24年9月に発生した水道水異臭味問題に対して、平成24年11月に専門家、水道事業者、ダム管理者による上記検討委員会を設立し、原因究明や有効な再発防止策、水質のモニタリング結果及び今後の水質保全計画等について検討してきました。また、令和元年度には恒久対策の湖水循環(曝気)装置3基が完成し、昨年の6月より本格運用しています。

当日は、浅瀬石川ダム管理支所の三上管理第一係長により現地で本格運用している湖水循環(曝気)装置の説明を行い、その後、場所を津軽広域水道企業団へ移し、8人の委員を含む約25名で検討委員会を開催しました。

今回は、これまでの水質保全対策の検討経緯と効果検証が行われ、異臭味現象の抑制効果が明確に出ていることや、今後の運用方針について報告しました。また、これらの報告をもって、2021年度以降のモニタリングは簡略化を図る計画を示し、了承されました。

最後に、野池達也(東北大学名誉教授)委員長から、「8年間にわたって本当によくやっていただいた。」と講評をいただきました。また他の委員からは「このように対策を行って効果が顕著に表れて、成功している例は全国でも少ない。この委員会だけにとどまらずもっと公表していくと良い。」というお言葉や、企業長である櫻田宏弘前市長からは、「ダムでの対策が津軽地域の安全に繋がっている、津軽地域を代表して御礼を言いたい。」とのお言葉を頂きました。

(国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所)



Dam news 投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。

内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。

1. イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）
2. 小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）
3. ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）
4. ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）
5. ダム周辺の自然紹介
6. ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）
7. 研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）
8. 水害・地震等報告
9. ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター『ダムニュース』 編集事務局

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 企画部 ダムニュース担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] damnews@jdec.or.jp

図 書 販 売

1. ダム技術
・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）
令和2年4月号（No. 403）～令和3年3月号（No. 414） 1,260円（税別・送料込）
2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）
・平成17年6月発行 A4 判 88,200円（税込・送料別）
3. RCD工法技術の進歩
・平成17年12月発行 A4 判 4,500円（税込・送料別）
4. ダムの安全管理
・平成18年5月発行 B5 判 2,000円（税込・送料別）
5. 台形CSG ダム施工・品質管理技術資料
・平成19年9月発行 A4 判 2,000円（税込・送料別）
6. 地質現象とダム
・平成20年6月発行 A4 判 7,000円（税込・送料別）
7. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術
・平成22年8月発行 A5 判 6,000円（税込・送料別）
8. 改訂版 巡航RCD工法施工技術資料
・平成24年2月発行 A4 判 2,000円（税込・送料別）
9. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料
・平成24年6月発行 A4 判 3,000円（税込・送料別）
10. ダム基礎における立体的岩盤透水性分布の把握手法
・平成25年5月発行 A4 判 5,000円（税込・送料別）
11. ダム技術Q&A—総集編—改訂版 I
・平成27年3月発行 A4判 3,000円（税別・送料別）
12. ダムの地質調査—ボーリング・調査坑・トレンチ—
・平成27年3月発行 A4判 6,000円（税込・送料別）
13. ダム工事積算の解説（平成28年度版）
・平成28年5月発行 A4判 2,500円（税込・送料別）
14. RCD工法施工技術資料
・平成31年3月発行 A4判 5,000円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。

お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。

申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp

図書注文書

一般財団法人ダム技術センター図書販売担当宛

FAX (03-5815-4162)

下記のとおり注文します。

No	書籍名	部数
1		
2		
3		

*公/私どちらかに○をお付け下さい。 公→宛名(会社名) 私→宛名(申込者名)となります。		公・(宛名(会社名)) 私・(宛名(申込者名))	
申込者 (ご氏名)	ふりがな		
会社名			
事務所名・ 部署名			
所在地	(〒 -)		
TEL		FAX	
E-mail			
通信欄			

- ◆ご注文の商品は、3日～10日程度でお手元に届きます。
- ◆請求書、納品書、見積書は、商品とは別途郵送にてお届けいたします。(到着日は、商品と1日程度誤差あり)
- ◆代金お支払いについて、郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。なお、銀行振込でお支払いされる場合には、お手数ですがお振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAXもしくは通知状)にてご通知下さい。
- ◆銀行振込の手数料は、お客様のご負担となります。ご通知がない場合、代金が振り込まれても未払い扱いとなり、後日再請求する可能性があります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
- ◆特定の様式による請求書等をご希望の際は、注文書、指定請求用紙などを同封の上、郵便もしくはFAX、E-mail等にて上記の問い合わせ先にお申し込み下さい。なお、郵便によるご注文の場合、商品到着までに通常より日数がかかりますのでご了承下さい。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp